

柚子絞

2024年1月新しい柚子絞り器を使い柚子を絞った。2008年に苦勞して最初の柚子絞り器を自作したが、それから3代目になる。絞り器はAmazonで購入したもので、一般の果物用で、柚子に特化したものではない。

この機器を用いて柚子絞りをしている状態を図1に示します。



図1 柚子絞り器(3代目)

従来の絞り器に比べて絞る時の力が小さいので、作業が楽になりました。従来器(図3)は握る力で絞るので握力が必要で、大変疲れました。また柚子の種が容器の中に残り、これを一定間隔で排出する必要がありますが、新しい絞り器では、この操作も楽にできます。絞った柚子は自宅ではほとんど消費せず、テニス仲間に配ります。図2に今年絞った柚子酢の一部を示します。



図2 柚子酢

柚子絞り器(1)



図3 絞り器(第2代)

図3に第2代目の柚子絞り器を示します。これはスーパーなどの食器売り場などで販売されているものです。

参考のため初代の柚子絞り器を図4に示します。

これは今から16年前、わたくしが会社勤めを辞めた後、いろいろと考えて自作したものです(柳緑花紅にUP済)。この時は、その昔私の生家で醤油絞りをしていたことを思い出して作ったものです。ずいぶん苦勞して作りましたが、性能(操作性)はあまりよくありませんでした。



図4 初代 柚子絞り器

私はひたちなか市に自宅を建てて、たぶん、同時に柚子を植えて、その後、毎年多くの収穫を楽しんできました。今年もこの古木に実をつけましたが、枝の一部は枯れてしまいました。それでも生きている枝には多くの実が付きました。この古木の隣に落ちた実から育った木がありますが、今年はこの木にも多くの実が付きました。2本の木から収穫籠に何倍もの収穫があり、そのまま、または、柚子酢にしてテニス仲間などに配りました。柚子さん本当にありがとう。



図 5 柚子の古木(中央)と新木(右側)



図 6 2023 年の収穫(この収穫籠に数倍採れた)